

追悼 岡本 正 様



岡本さんから学んだこと

What I learned from Okamoto-san

(国研) 産業技術総合研究所 杉山 順一

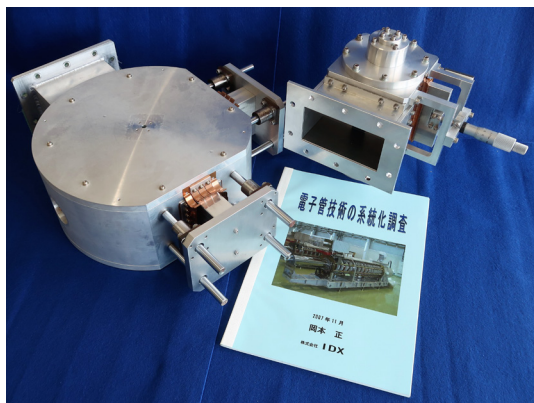
AIST, Jun-ichi Sugiyama

〒305-8565 茨城県つくば市東 1-1-1 中央第 5

e-mail: sugiyama-j@aist.go.jp

岡本さんと初めて会ったのは当時顧問をされていた東京電子株式会社が五反田にあった頃だ。岡本さんは誘電率の測定方法、特に温度依存性がマイクロ波加熱には重要であることを認識していて、そのための装置開発を行っていた。私といえばマイクロ波の挙動について何一つ知識もなく、ただ先人の示した数式を出典も知らずに使い始めたばかりだった。円筒空洞共振器内になぜモードというものがあるのか、その形が何に起因しているのか、まるで分らない。合成化学しかしてこなかった私に、「電界は0次ベッセル関数、磁界は1次ベッセル関数なんですよ」「マクスウェルの方程式のこれはベクトル演算子です」「損失式は複素数で表されますね」「導波管で穴を開けて良いのは表面電流の方向だけです」と、原理を教えてくれた。電磁気学の基礎と実用をととてもよくご存じであり、そして教え方も要を得た方だった。

岡本さんは大阪大学工学部通信工学科を卒業された後、東京芝浦電気株式会社に入社され、電子管技術部長、電子事業本部電子管担当技師長、電子管事業部技監を歴任された。その後、東京電子顧問、IDX 理事、サイダ・FDS 顧問、等でご活躍されている。職を離れた後も個人としてご活躍されており、最後にご一緒した仕事である NEDO 委託「革新炭素繊維基盤技術開発」では、炭素繊維の焼成過程の電磁界シミュレーションをお願いしていた。複雑な条件にもかかわらず、とても有益な結果と解釈を頂いた記憶がある。



2019 年、JEMEA シンポジウムがつくばで開催された時、「立体回路とコンポーネント」という特別展示を行った。その中には岡本さんの原案で作成した装置やその発展形がいくつかあった。それを見せたかったのだが、残念ながら岡本さんは来なかった。改めてお礼も言えぬままだった。ありがとうございました。そして、静かにご冥福を祈ります。

(写真：共振器と国立科学博物館主任調査員時の著書)